

薬剤師確保の支援体制構築推進事業

令和7年度当初予算 18百万円（24百万円）※（ ）内は前年度当初予算額

1 事業の目的

令和3年6月に公表された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」では、薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に病院薬剤師の確保が喫緊の課題であることが指摘されている。「第8次医療計画等に関する検討会」においても薬剤師確保の取組の必要性が指摘され、医療計画作成指針において、医療従事者の確保等の記載に当たって踏まえるべき観点として、地域の実情に応じた薬剤師確保策の実施等が新たに記載された。

令和4年度事業では、各都道府県において薬剤師確保計画を策定する際の参考となるよう、各種統計情報を用いて薬剤師の偏在の度合いを示す指標を算出するとともに「薬剤師確保計画ガイドライン」を作成し、公表した（令和5年6月）。

本事業では、以下の事業を実施する。

- (1) 薬剤師が不足する医療機関・薬局を支援する体制の整備等を実施し、得られた成果・知見等の共有を図るためのモデル事業
- (2) 「薬剤師確保計画ガイドライン」の改訂に向けた偏在指標等の見直しに係る調査事業

2 事業の概要・スキーム

(1) モデル事業

①地域の連携体制の構築

- 都道府県、地域の病院薬剤師会・薬剤師会等が連携し、薬剤師の偏在解消に取り組むコントロールタワーの確立
- 都道府県内の薬剤師の不足・充足の状況を把握し、優先的に支援すべき医療機関・薬局を判断
- 薬剤師の派遣・斡旋の協議・調整
- 就労希望薬剤師の復職支援（復職研修等）

②実施成果の情報発信

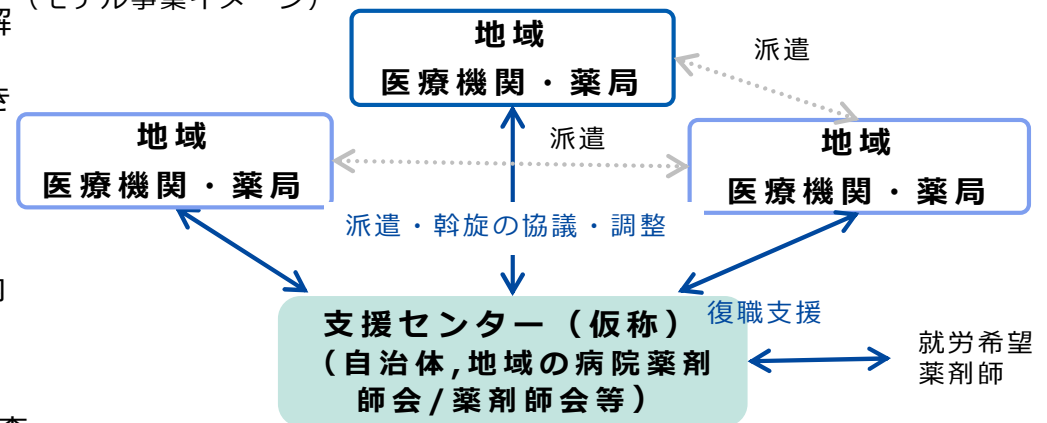
事業内容、明らかになった課題、課題に対する今後の対応策等の検討内容を含む実施成果を情報発信

(2) 偏在指標等の見直しに係る調査事業

各種統計情報のアップデート等による偏在指標等の見直しのための調査

モデル事業実施体制

(モデル事業イメージ)



3 実施主体等

実施主体 (1) 都道府県、都道府県病院薬剤師会、都道府県薬剤師会 (2) 民間団体等

補助率 10/10

| | 事業内容及びポイント | 調査・検討体制 | 取組の成果 |
|-----|---|---|---|
| 北海道 | ①薬剤師確保対策検討会の実施 | 北海道医務薬務課、北海道薬剤師会、北海道病院薬剤師会、北海道医師会、北海道病院協会、全国自治体病院協議会北海道支部、北海道大学、北海道科学大学、北海道医療大学、市立根室病院、札幌医科大学附属病院 | 様々な関係団体関係者と薬剤師確保のための取組について協議することで、 <u>薬剤師等の現状や効果的な取組内容、検討すべき点</u> について、把握・検討することができた。 |
| 岩手県 | ①薬剤師確保対策検討会の設置②薬剤師確保の具体策の検討 | 岩手県健康国保課、岩手県医療局、岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、岩手医科大学 | 県内の病院薬剤師の確保を推進するため、検討会での議論及び関係者との協議を重ね、地域医療介護総合確保基金を活用した病院薬剤師奨学金返還支援制度の制度設計等を進め、令和8年度から <u>病院薬剤師奨学金返還支援制度を開始</u> する。 |
| 岡山県 | ①薬学部生を対象とした病院薬剤師に係るセミナーの実施②日本薬剤師会において病院薬剤師確保に係るキャリアアップコーナーの設置 | 岡山県医薬安全課、岡山県病院薬剤師会 | 病院薬剤師に係るセミナーを実施したところ、 <u>県内の薬学生約100名に参加</u> いただき、病院薬剤師の役割、仕事内容等について周知した。日本薬学会で設置したキャリアアップコーナーに24人が来場し、病院薬剤師の業務内容や勤務状況等について発信した。 |

令和7年3月に策定した「北海道薬剤師確保計画」に基づき、北海道薬剤師確保対策検討会での協議を踏まえながら、薬剤師確保の取組を進め、薬剤師の地域偏在や業態偏在是正を目指す

北海道薬剤師確保対策検討会

1 開催目的

薬剤師確保のための施策の検討及び北海道薬剤師確保計画を策定するため、**北海道薬剤師確保対策検討会**※¹（以下「検討会」という。）を開催

2 構成員

※¹ 附属機関等の設置又は開催及び運営に関する基準（平成10年3月30日制定、令和2年4月1日一部改正）第2（2）に定義する「懇談会」のうち常設のもの。

検討会は薬剤師会、病院薬剤師会、薬学教育機関関係者、その他保健福祉部長が選定した12名の委員によって組織

3 議事

薬剤師確保や薬剤師の偏在解消、薬剤師の役割などについて協議

4 R7の協議内容

薬剤師確保の取組について、以下の内容について協議を行った

- 1 薬剤師バンクにおける復職支援・就業斡旋の充実と周知方法の検討
⇒ 利便性向上の観点からWebフォームによる登録など薬剤師バンクHPの改修が効果的
・周知方法として若年層や薬剤師を対象を絞った広告が効果的
- 2 小中高性を対象にした各地での薬剤師体験イベント等の検討
⇒ 道の既存事業も活用しながら市町村や関係団体が連携して、各地で薬剤師体験イベント等を実施することが効果的
・医師等の他職種との医療従事者体験イベント等のタイアップも検討が必要
- 3 大学の生涯学習事業と連携した薬剤師の復職支援やスキルアップ研修の検討
⇒ 実践的な復職支援プログラムや病院薬剤師への転職支援等の構築について、関係団体や行政が連携して検討していくことが必要
- 4 薬学生と薬剤師の交流会開催の検討
⇒ 関係団体等の取組状況を把握し、薬学生が薬局や病院の業務、勤務条件・状況を正しく理解・認識できるような交流会の機会を構築することについて検討が必要
- 5 地方での実務実習を支援する仕組みの検討
⇒ 実務実習認定指導薬剤師の資格をとるためにハードルとなっている要因の把握の必要性
・地方の病院と薬局の連携による住居サポートの可能性や実務実習認定指導薬剤師の資格をとるためのサポートの選択肢について検討が必要
- 6 薬剤師修学資金支援事業の検討
⇒ 修学資金支援事業は病院薬剤師又は病院薬剤師として就職する薬学生を対象とすることから業態偏在是正の一助になる
・独自に修学資金支援事業を実施している市町村について、道のHPで周知することも効果的

北海道薬剤師確保計画

1 策定日

令和7年3月

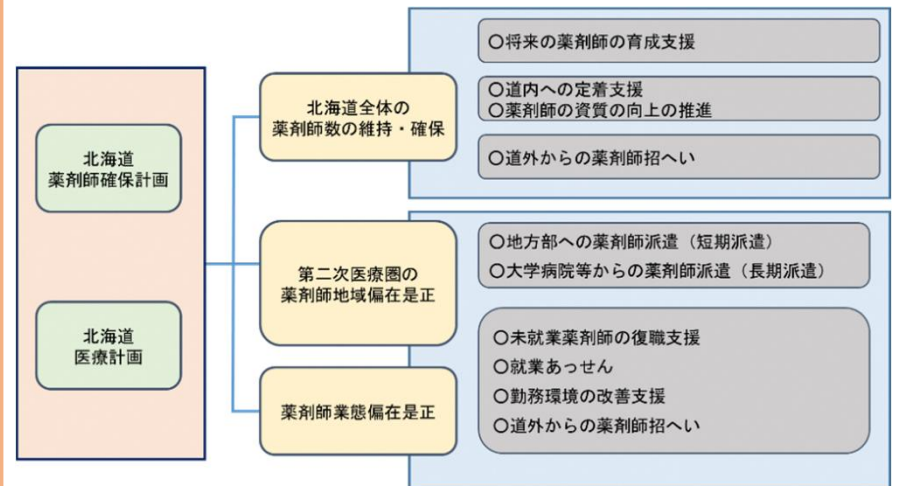
2 趣旨

本計画は、国が新たに算定する薬剤師偏在指標に基づき、薬剤師少数区域等を設定した上で、薬剤師少数区域等における薬剤師を確保し、**広域分散型の本道の実情も踏まえ、薬剤師の地域偏在や業態偏在是正を目指すもの。**

3 概要

- 道内の第二次医療圏ごとの薬剤師偏在指標を算出し、薬剤師少数区域等の設定
- 道全体及び区域ごとの薬剤師確保の方針を設定
- 薬剤師少数区域における目標薬剤師数を設定
- 目標薬剤師数を達成するための道における薬剤師確保の取組を下図のとおり整理

【北海道における薬剤師確保の取組】



岩手県薬剤師確保のための検討事業実績報告書

地域の基礎データ

- 岩手県は、病院薬剤師少数都道府県
- 病院薬剤師は7医療圏で薬剤師少数区域
- 薬局薬剤師は宮古・久慈圏域で薬剤師少数区域

事業全体のポイント

- 岩手県薬剤師確保対策検討会の設置
- 検討会での協議を踏まえ、地域医療介護総合確保基金（修学資金返還支援等）を活用した取り組みを検討

事業の経過・内容

- 検討会開催(6/18 10/24 1/27 3/25)
- 基金を活用した取り組みの検討

取組の効果（評価指標）

- 県内の病院薬剤師の確保を推進するため、検討会での議論及び関係者との協議を重ね、地域医療介護総合確保基金を活用した病院薬剤師奨学金返還支援制度の制度設計等を進め、令和8年度から病院薬剤師奨学金返還支援制度を開始する。

今後の事業展開

- 検討会において提案のあった就職説明会の開催
- 地域医療介護総合確保基金を活用した病院薬剤師奨学金返還支援制度の実施

令和7年度岡山県薬剤師確保のための調査・検討事業（事業内容・成果）

【概要及び事業内容】

当県の「病院薬剤師偏在指標」は0.85となっており、薬剤師少数県に該当し、病院薬剤師確保のための対策が求められている。実態を把握すべく、令和5年度に県病院薬剤師会と協同で、県内の医療機関を対象とした「薬剤師確保に係る実態調査」を実施した。当該調査では、約7割の医療機関が、薬剤師が十分に足りていないと認識していることが分かった。また、県内に2つの薬学部があるにもかかわらず、県内の病院への就職者が十分にいないことも分かったため、薬学部の講義で、病院に勤務している薬剤師が講師となり、病院薬剤師の役割等についてセミナーを実施した。

1 薬学部生を対象とした病院薬剤師に係るセミナーを実施

薬学部の講義で、病院に勤務している薬剤師が講師となり、病院薬剤師の役割ややりがい等についてセミナーを行った。

2 キャリアアップコーナーの設置

日本薬学会において、病院薬剤師確保に係るキャリアアップコーナーを設置し、県内外出身の薬学生等24名が来場し、病院薬剤師の魅力や業務内容等について発信した。

【今後の予定】

令和6年度に実施した、出向薬剤師の受入れに関する意向調査を実施し、データの更新を行うとともに、令和7年度に実施を予定していた、病院に勤務している若手薬剤師に対する、病院に就職した理由、やりがい等についてのアンケート調査を実施し、結果を薬学部生に周知する。

引き続き、県内の薬学部と連携し、県内の病院への就職希望者を確保できるような体制を構築する。また、薬学部の講義で、病院に勤務している薬剤師が講師となり、病院薬剤師の役割、やりがい等についてセミナーを実施する。

<病院薬剤師偏在指標>

| | | 偏在指標 | 分類 |
|-------|-------|------|---------|
| 全国 | | 0.80 | — |
| 岡山県 | | 0.85 | 薬剤師少数県 |
| 二次医療圏 | 県南東部 | 0.93 | |
| | 県南西部 | 0.89 | |
| | 高梁・新見 | 0.41 | 薬剤師少数区域 |
| | 真庭 | 0.49 | 薬剤師少数区域 |
| | 津山・英田 | 0.56 | 薬剤師少数区域 |